



C B I 学会にご参加ください！

CBI 学会とは？

CBI 学会は、1981 年より活動を開始した学術研究を目的とした交流のための組織です。CBI 学会の C は Chemistry、B は Biology、I は Informatics を意味します。CBI 学会の正式な名称は、情報計算化学生物学会ですが、これは 2000 年にそれまでの「計算機と化学・生物学の会」を改称したものです。この会は、医薬品のような生体作用を有する有用な物質の探索やデザインや適切な使い方に関する分子レベルの研究に焦点を合わせています。そこには、理論化学を基礎とした分子計算のシミュレーション、化合物の構造活性相関 (QSAR) 解析、膨大な塩基配列データからの遺伝子の同定、タンパク質の高次構造予測、医薬品の受容体と薬物分子の結合の解析、生体内の生化学反応ネットワークのデータベース、疾病の分子メカニズムとそれに基づく制御のためのモデルとシミュレーション、マイクロアレイやプロテオミクスなどゲノム・ワイドな同時計測の膨大なデータの解析や解釈、さらにそれらの基盤となるデータベース、知識ベース、モデルシステムの構築などの問題が含まれています。

こうした問題は、狭義には計算化学やバイオインフォマティクスなどと呼ばれていますが、CBI 学会ではそうした名称にはとらわれず、化学、生物学とその関連する学問領域すなわち薬学、薬理学、毒性学、医学、健康科学、環境科学などへの先端的な情報学と計算技法の応用と捉えています。したがって後者に関しては人工知能やパターン認識やネットワークなどの研究者の参加を歓迎してきました。

関のない産官学の出会いの機会

CBI には一切の関がありません。新しい発想を尊重し、学問を楽しむ好奇心を尊重し、しかも理論だけでなく実際問題を解決する実践を尊びます。産官学は流行の言葉ですが、CBI は 20 年以上それを実践しています。CBI は専門を異にする研究者の出会いの機会を提供するだけでなく、産官学という異なる立場の研究者の出会いと協力の場となることを常に心掛けてきました。実際に 20 年を越える活動の中で、CBI の出会いの機会からはさまざまなプロジェクトが生まれています。

進化する学会

今日で言えばバイオと IT を基盤とする CBI を取り巻く環境は劇的に変化してきました。この環境の変化に適応しなければならないことが、組織としての CBI を進化させる原動力になっています。この適応を可能にしているのが新しい参加者たちです。そのために CBI は常に新しい出会いの機会を積極的につくろうとしています。本年度はとくにゲノム解析の進歩が医療にインパクトを与えるという予測から分子生物学の実験家や臨床医学分野の研究者との交流を願っています。また、インターネット(ウェブ)革命の第 2 段階としてのグリッド・コンピューティングや Semantic Web を指向した XML などの研究者の参加も歓迎しています。

詳しい情報はHPで！

研究講演会や大会の開催、学会誌の刊行など CBI の活動およびこれらの活動への参加や入会の手続きなど詳しいことはホームページ (www.cbi.or.jp) をご覧ください。C B I はネットワーク団体としても登録されています。

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 4-3-16 イイダビル 301

情報計算化学生物学会 (CBI 学会) 事務局

Tel 03-5491-5423 ; Fax 03-5491-5462 ; E-mail cbistaff@cbi.or.jp

ホームページ <http://www.cbi.or.jp>

第3回 CBI 学会大会(2002 年大会)

「ゲノムの知識に基づく診断と治療にむけて」

～計算科学とバイオインフォマティクスから見た「ゲノムから医療」への道～

日時：2002 年 9 月 18 日（水）～20 日（金）

場所：東京ファッションタウン(TFT)ホール（お台場 東京）

開催趣旨

インターネットに象徴される情報技術（IT）革命とヒトのゲノム解析計画に象徴される生物学革命は、相乗して関連する科学技術の様相を大きく変えている。本大会は昨年の主要テーマとして、IT とゲノム革命の医薬品研究へのインパクトを取り上げたが、本年はそれに続く課題として、診断と治療へのインパクトを取り上げた。すでにチップやマイクロアレイ技術は実際の診断に使われようとしている。また、SNP など個人の遺伝的な微小変異データの蓄積は、その違いを考慮した個別の治療計画（パーソナライズド・メディシン）への期待を高めている。さらに病原微生物のゲノム解析に基づくよりの確な抗菌剤の開発、発生学の知見を生かした臓器再生治療、より適切な薬物投与方法の開発などへの取り組みも活発である。こうした新しい潮流は、一方で患者ごとに管理すべき情報の爆発をもたらし、また情報の守秘義務への特別な配慮を喚起している。それは研究者にとっても、医療サービスの提供者にとっても、その受け手にとっても、またそれ以外の関係者にとっても未知なる世界である。

この大会はこの未知なる世界のイメージを探り、研究開発やサービスを支える情報計算基盤を明らかにすることをめざしている。本大会がこれまでの大会の参加者だけでなく、医療分野の研究者や関係者、さらに同時に開催されるゲノムテクノロジーフォーラムの参加者にとっても魅力のあるものとなることを願っている。

大会実行委員長 田中 博

CBI 学会の関心領域、論文投稿区分

1. 分子計算
2. 分子認識
3. 分子生物学における情報計算技術
4. ゲノムワイドな実験データの解析
5. 医薬品研究と毒性研究支援システム
6. 疾病メカニズムと制御モデル
7. その他

ポスター発表

最優秀論文賞に選ばれた人には、ノースウエスト航空、アップルコンピュータ株式会社、マイクロソフト株式会社、株式会社シマンテック、アドビ システムズ株式会社などからの賞品があります。また、CBI Journal へ Full paper として掲載することが優先的に考慮されます。

参加費

事前申し込み：一般 6000 円、会員 3000 円、学生 3000 円

当日参加：一般 8000 円、会員 4000 円、学生 4000 円

大会実行委員長：田中 博（東京医科歯科大学）

主催：情報計算化学生物学会（CBI 学会）

特別協力：(株) IDG ジャパン

同時開催：ゲノムテクノロジー・ビジネス・フォーラム

お問い合わせ先：東京医科歯科大学難治疾患研究所生命情報学

〒113 - 8510 東京都文京区湯島 1-5-45

Tel：03-5803-5839, 03-5803-5840 or 5841 FAX：03-5803-0247

E-mail：cbi2002@bioinfo.tmd.ac.jp

詳細は大会ホームページ：<http://bioinfo.tmd.ac.jp/~cbi2002/>をご覧ください。

CBI 学会についてはホームページ：<http://www.cbi.or.jp/>をご覧ください。

ポスター発表募集要項

演題応募受付期間

2002年5月15日(水)から6月30日(日)まで

応募資格

演題応募に関しては発表者がCBI学会の会員・非会員かを問いません。

第3回CBI学会大会では、ポスター発表演題を下記の要領で募集いたします。今大会では一般投稿演題は全てポスターセッションとさせていただきますが、大会期間中にポスター発表セッションを設け、各演題について数分間の発表をしていただく予定です。

応募方法

第3回CBI学会大会のホームページ <http://bioinfo.tmd.ac.jp/~cbi2002/> に演題募集用ページが期間中開設されますので、Web上で電子的に投稿していただきます。

必要入力事項

演題名、発表者名、所属名、応募抄録(和文400字以内または英文80ワード以内)の他、応募セッション名および筆頭演者連絡先の情報を指定した形式に従いWeb上から登録していただきます。詳細は大会ホームページをご参照ください。

募集演題セッション区分

1. 分子計算	5. 医薬品研究と毒性研究支援システム
2. 分子認識	6. 疾病メカニズムと制御モデル
3. 分子生物学における情報計算技術	7. その他
4. ゲノムワイドな実験データの解析	

採用後論文作成

採用されたポスター発表演題は、発表内容を表す論文(和文1頁半+英文半頁)を指定した形式に従い作成し、Web上から8月10日までに投稿していただきます。

大会までのスケジュール

演題受付期間	2002年5月15日(水)~6月30日(日)(厳守)
採否通知	2002年7月中旬頃
論文投稿締切り	2002年8月10日(土)(厳守)
ポスター発表期日	大会期間(2002年9月18日から20日)

優秀賞の認定

大会期間中の参加者による投票によって認定する予定です。

CBI Journal

Chem-Bio Informatics Journal

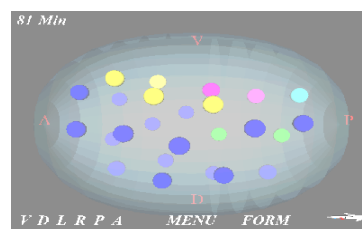
CBI Journal は、CBI 学会が刊行しているオンラインの英文原著論文誌です。この雑誌は下記で公開されています。詳細はCBI 学会のホームページ(<http://www.cbi.or.jp/>)をご覧ください。
なお、1年分をまとめた印刷物としても刊行されています。

オンラインジャーナル公開サイト
J-Stage, <http://www.jstage.jst.go.jp/>



【 論文募集中 】

- 1 . 分子計算
- 2 . 分子認識
- 3 . 分子生物学における情報計算技術
- 4 . ゲノムワイドな実験データの解析
- 5 . 医薬品研究と毒性研究支援システム
- 6 . 疾病メカニズムと制御モデル
- 7 . その他



〒158-0097 東京都世田谷区用賀 4-3-16 イイダビル 301
情報計算化学生物学会 (CBI 学会) 事務局
CBI-Journal 刊行委員会 委員長 中田吉郎 (群馬大学)
Tel 03-5491-5423 ; Fax 03-5491-5462 ; E-mail cbistaff@cbi.or.jp
ホームページ <http://www.cbi.or.jp/>